

フランスの原子力安全及び放射線防護に関する  
2002年ASN報告書

目次

論説	4
原子力安全機関：その使命、主な数字、そしてその組織	7
2012年を振り返って	12
2012年のハイライト	16
福島事故を受けたASNの活動	41
ASNの活動	
第1章：原子力事業；電離放射線と健康及び環境へのリスク	46
1. 電離放射線リスクに関する知見の現状	49
2. 原子力事業	53
3. 電離放射線被ばくの監視	55
4. 今後の展望	64
第2章：原子力安全及び放射線防護の検査の諸原則と関係者	67
1. 原子力安全及び放射線防護の諸原則	69
2. 関係者	74
3. 今後の展望	89
第3章：規制	91
1. 原子力事業の規制の一般的枠組み	93
2. 核医療の規制	101
3. 原子力基本施設の法律制度	107
4. 放射性物質の輸送の規制	122
5. 一部のリスク又は特定事業に適用される規定	124
6. 今後の展望	126
第4章：原子力事業と電離放射線被ばくの検査	131
1. 事業者が責任を果たしているか検証する	133
2. 事業が抱える課題に検査を比例させる	136
3. 効率的な検査手段を適用する	139
4. 環境放射能を監視する	154
5. 違反を指摘し、制裁する	159
6. 今後の展望	161

<b>第5章：放射線緊急事態と事故後</b> .....	163
1. 予測する .....	165
2. 緊急事態での行動 .....	171
3. 教訓を活用する .....	177
4. 今後の展望 .....	179
<b>第6章：公衆への情報提供と透明性</b> .....	181
1. 公衆との関係を充実させる .....	183
2. 原子力安全や放射線防護に関する情報入手の権利を強化する .....	196
3. 今後の展望 .....	206
<b>第7章：国際関係</b> .....	209
1. 欧州及び世界における ASN の目標 .....	211
2. 欧州共同体及び多国間関係 .....	214
3. 二国間関係 .....	224
4. 国際協定 .....	229
5. 国際会議 .....	232
6. 今後の展望 .....	233
<b>第8章：原子力安全及び放射線防護の地方の状況</b> .....	235
1. Aquitaine、Pointou-Charentes 及び Midi-Pyrénées 地方 .....	239
2. Basse-Normandie 及び Haute-Normandie 地方 .....	242
3. Champagne-Ardenne 及び Picardie 地方 .....	247
4. Bourgogne 及び Franche-Comté 地方 .....	250
5. Nord-Pas-de-Calais 地方 .....	253
6. Rhône-Alpes 及び Auvergne 地方 .....	256
7. Provence-Alpes-Côte-d'Azur 及び Languedoc-Roussillon 地方 .....	263
8. Loire 及び Bretagne 地方 .....	267
9. Centre、Limousin 及び Ile-de-France 地方 .....	270
10. Ile-de-France 地域圏及び海外県 .....	275
11. Alsace 及び Lorraine 地方 .....	278

## ASN の規制対象事業

<b>第9章：電離放射線の医療利用</b> .....	283
1. 医療用及び歯科用放射線診断設備 .....	285
2. 核医療 .....	288
3. 外部放射線治療 .....	291
4. 輸血液放射線照射装置 .....	295

5. 医療環境における放射線防護の状態	296
6. 今後の展望	306
<b>第 10 章：産業、研究及び獣医学への利用と線源の保安</b>	<b>309</b>
1. 放射線源の産業、研究及び獣医学への利用	311
2. 電離放射線を発する電気装置の産業、研究及び獣医学への利用	315
3. 産業、研究及び獣医療設備の規制	319
4. 2012 年の主な事象	326
5. 産業、研究及び獣医学分野の放射線防護に関する評価と今後の展望	328
<b>第 11 章：放射性物質の輸送</b>	<b>333</b>
1. 輸送分野のリスク	335
2. 放射性物質の輸送の検査の役割と責任	337
3. 放射性物質の輸送に関する欧州及び国際的な規制の制定	338
4. 放射性物質の輸送の分野における ASN の対応	341
5. 放射性物質の輸送の安全に関する ASN の総括と今後の展望	348
<b>第 12 章：原子力発電所</b>	<b>351</b>
1. 原子力発電所に関する総論	353
2. 原子力安全の検査	356
3. 放射線防護、作業員の防護を検査し、環境影響を管理する	366
4. 原子力安全及び放射線防護の主要課題	368
5. 2012 年のハイライト	378
6. 評価	386
7. 今後の展望	402
<b>第 13 章：核燃料サイクル施設</b>	<b>405</b>
1. 燃料サイクルと運転中の施設	407
2. 活動を終えた施設	417
3. 燃料サイクル施設の検査	420
4. 国際的なアクション	423
5. 福島第一発電所で発生した事故から教訓を引き出す	424
6. 今後の展望	424
<b>第 14 章：研究用原子力施設及びその他の原子力施設</b>	<b>427</b>
1. 原子力エネルギー・代替エネルギー庁の施設	429
2. CEA 以外の研究用原子力施設	441
3. イオン化装置、医薬品用放射性元素の生成、保守工場、その他原子力施設	444
4. 今後の展望	447

<b>第 15 章：原子力基本施設の解体の安全性</b> .....	449
1. 解体の技術及び法律の枠組 .....	451
2. 2012 年時点で解体中の原子力施設の状況 .....	455
3. 今後の展望 .....	466
<b>第 16 章：放射性廃棄物、汚染されたサイトと土壌</b> .....	473
1. 放射性廃棄物 .....	475
2. 放射能汚染サイト及び土壌の管理 .....	496
3. 今後の展望 .....	503